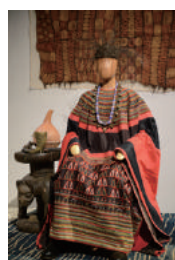
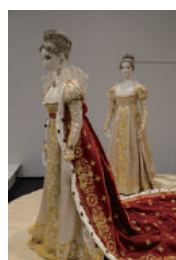


常設展 (コレクション展)

数字で見る神戸ファッション美術館



2018年4月14日(土)ー7月1日(日) 予定

常設展（コレクション展）
「数字で見る神戸ファッション美術館」

神戸ファッション美術館は、18世紀から19世紀の宮廷衣装や、20世紀の有名デザイナーによるオートクチュール作品のほか、70カ国以上の民族衣装、テキスタイル、ファッション・プレート、ファッション写真など、多数の作品を所蔵しています。本展では、当館所蔵作品の中から34点を選び、それぞれの作品にまつわる数字とともにご紹介します。1番目に登場するのは、当美術館開館22年の間で人気No.1の出展作品であるガブリエル・シャネルのジャージー生地のスーツです。自分の力で生きる活動的な女性のための服でした。作品それぞれにさまざまな物語があります。数字でファッションの世界とその物語を楽しんでください。同時に、実物のドレスを時代順にご紹介する、西洋服飾史の展示も行っております。あわせてご覧ください。

※「常設展（コレクション展）」は、当館でこれまで行ってきたベーシック展示の新展開を図るものです。

1 人気 No. 1



ガブリエル・シャネル
デイ・スーツ
1927年頃
フランス

シャネル・スーツの原型と称されるこのスーツは、神戸ファッション美術館の開館から21年間で、最も長い時間、多くの会場で展示された人気 No.1 の作品です。20世紀初頭にシャネルが打ち出したのは、自分の力で生きる活動的な女性たちのための服でした。19世紀までとは全く違ったエレガンスと優れた機能性を併せ持つ20世紀ファッションの永遠の代表作です。

4 ウマは4足歩行のはずが



永澤陽一
ジョップーズパンツ 「恐れと狂気」
2008年

永澤がポニー革のジョップーズパンツを初めて制作したのは1999年、パンツの登場が女性ファッションを解放したという事実を検証したパリで開催された「パンタロン展」の時でした。原寸大のポニーのサイズでオリジナルパターンをおこし、本物の馬の毛皮、しっぽ、さらに蹄鉄を打ったひづめ付という完璧な処理で、乗馬用パンツに見立てた作品。関節の方向が違うので着用はできません。2008年永澤の個展「恐れと狂気」(京都)のため、3点が新たに作成されました。

2 アシンビ 2 世



王族衣装
20 世紀中期
カメルーン バフツール王国

300 年ほど前、バメンダ高原に移住したティカール族やゲンバ族は、チーフダム（王国）を形成しました。バフツール王国もそのひとつで、王族以外は布を身に着ける習慣がなく、18 世紀末、ジュクン族より木綿の藍染絞の布が伝えられ、王族はこれを樹皮布の代わりに腰巻として使用したのが衣装の始まりだといわれています。その後、イスラム教徒の影響を受けて貫頭衣を着装するようになり、19 世紀後半に現在のガウンとなりました。布、靴、首飾りはヨーロッパ製、動物モチーフを使用できるのは王族に限られています。

1,000

1000 匹の白テンのしっぽ



ジョゼフィーヌの戴冠式用大儀礼服（復元品）
刺繍工房アトリエ・プロカール（製作）
1993-95年（オリジナルは1804年）
フランス

オコジョ（白テン）はユーラシア大陸北部に分布する小型のイタチの仲間です。白い冬毛はアーミンと呼ばれ、上質の毛皮とされて古来よりヨーロッパで、王侯貴族が好んで用いました。任天堂トランプのハートのキング(13)（モデルはカール大帝）や歴史絵画などに登場します。ナポレオンのマントに2000、ジョゼフィーヌのマントに約1000の黒色のしっぽが縫い付けられています。本来なら1匹7万円程度で売買されていますが、本作品はしっぽだけが白テン、毛皮は白うさぎが使用されています。

同時開催 2018年4月21日(土)ー7月1日(日)

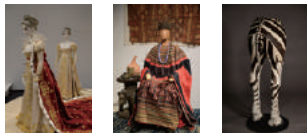
■ 特別展

「大正ロマン 昭和モダンー竹久夢二・高島華宵とその時代ー」

※特別展をご覧の方は常設展（コレクション展）は無料です。



常設展（コレクション展）
数字で見る神戸ファッション美術館



2018年
4月14日(土)
ー7月1日(日) (予定)

開館時間：10:00ー18:00（入館は17:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館。翌平日休館）、
年末年始（12/29ー1/3）、展示替え期間（展示室のみ）

入館料：一般 500(400)円、大学生・65歳以上 250(200)円、
高校生以下 無料

※カッコ内は30名以上の団体料金です。

※特別展期間中は特別展料金（毎回異なる）で特別展・常設展（コレクション展）をセットで
ご覧になります。尚、特別展期間中は常設展（コレクション展）のみの観覧は受け付けません。

主催：神戸ファッション美術館

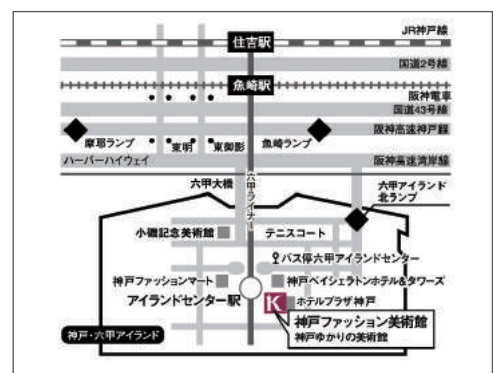
展示協力：大阪樟蔭女子大学

お問い合わせ（広報担当）

TEL：078-858-0050
FAX：078-858-0058
Eメール：press@fashionmuseum.or.jp

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

http://www.fashionmuseum.or.jp



[電車ご利用の場合]

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」のりかえ六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

[お車ご利用の場合]

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※駐車場は、美術館隣接のタイムズ神戸ファッションプラザ
駐車場をご利用ください。

駐車場利用料金：60分300円

※1日最大500円（平成30年4月現在）